



こうみ



町のお金はこのように使われます ②

3月議会 ー第1回定例会ー

こんなことが決まりました ④

議案質疑・委員会からの要望 ⑥

一般質問 ⑧

委員会からの要望・編集後記 ⑱

保育園卒園式

きかせて みんなの夢

みなさんの未来に寄り添うために

ように使われます

平成31年度一般会計当初予算 37億4,000万円
前年度対比6.3%増

一般会計予算(賛成多数で可決)・特別会計予算(全員賛成で可決)

■一般会計

会計名及び内訳	平成31年度 当初予算	構成割合 %	対前年度当初予算	
			増減額	増減率 %
一般会計総額	37億4,000万円		2億2,000万円	6.3
・議会費	6,874万円	1.8	93万円	1.4
・総務費	7億1,039万円	19.0	1億9,530万円	37.9
・民生費	7億6,470万円	20.5	△2,683万円	△3.4
・衛生費	3億4,416万円	9.2	2,152万円	6.7
・農林水産費	1億7,207万円	4.6	1,983万円	13.0
・商工費	3億6,065万円	9.6	138万円	0.4
・土木費	2億5,246万円	6.8	△5,344万円	△17.5
・消防費	1億5,035万円	4.0	378万円	2.6
・教育費	4億4,824万円	12.0	5,593万円	14.3
・災害復旧費	400万円	0.1	0万円	0.0
・公債費	4億5,924万円	12.3	160万円	0.4
・予備費	500万円	0.1	0万円	0.0

■特別会計

会計名及び内訳	平成31年度 当初予算	対前年度当初予算	
		増減額	増減率 %
国民健康保険	5億8,400万円	2,500万円	4.5
介護保険	6億8,550万円	450万円	0.7
後期高齢者医療	7,369万円	△278万円	△3.6
水道事業(収益的収入)	9,190万円	△20万円	△0.2

平成31年第1回定例会が3月5日から3月22日までの18日間の会期で開催されました。平成31年度予算については黒澤町長就任後、初めての本格予算編成となり、18日間にわたる会期において慎重審議を行いました。

町のお金はこの

31年度主な重点事業

総務費

●単身者用雇用住宅建設事業

1億380万円

雇用促進を推進するため、土村南町に単身者向けの町営住宅を建設するものです。

総務費

●移動販売事業

1,400万円

買物弱者対策として移動販売車を購入し、商工会へ事業委託をするものです。

総務費

●憩うまち形成事業

3,221万円

協定企業獲得のため企業への営業活動を積極的に行い、活動拠点整備として松原湖畔にある食堂旧「ためぎや」を改修するものです。

総務費

●空家等対策推進事業

3,319万円

空家促進事業として空家を改修し、移住体験施設を整備するものです。

民生費

●元気高齢者応援事業

114万円

介護保険を利用することなく元気に暮らしている85歳以上の高齢者に、5,000円分のPねっと商品券を贈呈し、元気な高齢者を支援する新たな事業です。

民生費

●地域活動支援センターひまわり改修事業

加工施設改修費 2,311万円

ひまわり相談室新設費 496万円

地域活動支援センターひまわりの機能強化のため、施設の整備、改修をするものです。

民生費

●エアコン設置事業

1,444万円

小中学校のエアコン整備に引き続き、保育所の遊戯室、給食室にエアコンを設置するものです。

農林水産費

●林政アドバイザー派遣事業

400万円

国からの交付税措置により、南佐久中部森林組合より職員の派遣を受け、林業振興を図るものです。

商工費

●雇用定住促進事業

480万円

雇用の増加と町内へ定住促進を目的とし、就職等により町内に定住する者に月1万円分Pねっと商品券を5年間給付するものです。

教育費

●大学等進学支援金事業

1,200万円

大学等への進学の際の家庭の経済的負担を軽減する事を目的に1人あたり30万円の支援金を新たに支給するものです。

主な歳入予算額

町税

町民税や固定資産税等の税金

5億 5,461万円

構成割合 (14.8%)

地方交付税

行政運営に国から交付されるお金

15億 9,700万円

構成割合 (42.7%)

国・県支出金

国・県が負担するお金

3億 1,131万円

構成割合 (8.3%)

町債 (町の借金)

主に建設事業に充てるために借り入れるお金

3億 2,690万円

構成割合 (8.7%)

こんなことが決まりました

30年度 一般会計補正予算 (第5号)

全員賛成で可決

6,089万円を追加補正 総額41億5,536万円

【歳出の主なもの】

●総務費 (積立金 他)	△3,021万円
●民生費	△1,912万円
●土木費 (道路改良舗装費 他)	1億5,809万円
●災害復旧費	△2,702万円

【財源の主なもの】

●町税	270万円
●国庫支出金	5,277万円
●県支出金	△1,405万円
●財産収入	△2,138万円
●町債	1,980万円

30年度 特別会計補正予算 (第3号)

全員賛成で可決

国民健康保険事業特別会計

2,898万円減額補正 総額 5億8,670万円

介護保険事業特別会計

2,999万円減額補正 総額 6億5,617万円

人事案2件、規約変更案等3件、条例案2件、当初予算案5件、補正予算案3件、請願1件、陳情2件、発議1件の合計19件で審議が行われ、18案件が可決・同意、1案件が継続審査となりました。一般質問は、10名の議員により行われ、町の考えをいただきました。

規約等

◆ 戸籍に係る電子情報処理組織の事務の委託に関する規約

南佐久郡と北佐久郡の各町村に東御市、小諸市、佐久市を加えた12市町村の戸籍サーバーを一つにし、設置及び管理を南牧村に委託するものとす。

全員賛成で可決

◆ 南佐久郡児童生徒就学相談委員会共同設置規約の変更

南佐久郡児童生徒就学相談委員会の事務局を佐久穂町教育委員会から小海町教育委員会に変更するものとす。

全員賛成で可決

◆ 小海町過疎地域自立促進計画の一部変更

計画にやすらぎ園・保育所・児童館のエアコン設置及び集落再生支援事業の修正、チャレンジ支援金事業及び移動販売事業を追加するものとす。

賛成多数で可決

条例改正

◆ 小海町個人情報保護条例の一部を改正する条例

個人情報情報の定義の明確化に伴い、要配慮個人情報情報の取扱等について改正がなされた事に伴う条例の整備。

全員賛成で可決

◆ 小海町地域密着型通所介護施設の設置及び管理に関する条例

現在建設中の「なごみ」を、介護保

3月議会 第1回定例会で

険法に基づくサービスを提供する施設として位置づけるため、設置及び管理に関する条例を定めるものです。
全員賛成で可決

人事

◆固定資産評価審査委員会委員の選任同意
 中島厚一さん（馬流元町）が全員賛成で同意されました。

◆小海町教育委員会委員の任命同意
 小須田真美さん（土村旭町）が全員賛成で同意されました。

請願

●町道改良工事の請願書
 請願者

町道改善会代表 篠原 秀一
 馬流区区长 篠原 正一

継続審査となりました。

陳情

●全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出することを求める陳情書

陳情者
 日米地位協定を見直す会

共同代表 難波 希美子
賛成多数で可決し、関係機関に意見書を提出しました。

●町道崩落復旧工事と町営雇用促進住宅

事業の説明を求める陳情書
 陳情者
 町道崩落復旧工事と町営雇用促進住宅事業の説明を求める町民の会
 新津林 一郎 依田 猛志
 新津 俊治

賛成少数で不採択となりました。

議案の訂正

◆議案第6号「小海町地域密着型通所介護施設の設定及び管理に関する条例の制定について」の訂正について
 招集日に提出された議案の一部を訂正するものです。
全員賛成で可決

第1回定例会の審議中賛成多数で可決された議案

(○は賛成 ×は反対)

(議員氏名) (議案名等)	古谷恒晴	渡辺均	井出幸実	井上一郎	小池捨吉	篠原伸男	篠原義従	的埜美香子	井出薫	新津孝徳	鷹野弥洲年	有坂辰六
議案第4号 小海町過疎地域自立促進計画の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	
議案第7号 平成31年度小海町一般会計予算について	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	
請願第1号 町道改良工事の請願書(継続審査)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	
陳情第1号 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出することを求める陳情書	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	議長職
陳情第2号 町道崩落復旧工事と町営雇用促進住宅事業の説明を求める陳情書について	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	
発議第1号 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	

議案質疑

【平成31年度一般会計予算関係】

Q 30年度から防犯カメラを設置し、主に通学路に設置したが、犯罪だとか起きた場合速やかに対応できるように今後、通学路以外の主要道路へ設置は考えているか。

A 現段階におきましては新年度予算ではカメラの新設は予定しておりませんが、前向きに検討してきたいと思えます。

Q 移動販売業務委託料ということで商工会に移動販売業務を委託するようだが、商工会に委託する理由と、JAは地域の家庭の事情などかなり把握していると思うが、JAは検討の対象にならなかったのか。

A 商工業振興、高齢者の買い物弱者対策をセットで考え町内の商工業者全体の活性化を図るため、参加を希望する商店等につきましてはすべて仲間にやっていただきたいということで、商工会に委託をするものです。

Q 憩うまちこうみ事業のためきや改修工事費で、用地の費用はどうなっているのか。

A 用地につきましては現在松原諏方神社の所有ということになっておりまして、諏方神社の関係の皆様、松原区の皆様にお話をして了解を得ています。今まで漁業組合が神社に対して使用料を支払っていたようです。町が使用することになれば神社の方と協議し、使用料をお支払するようになります。

Q チャレンジ支援金事業でほとんどが人件費ということもあると思うがその場合は。

A 基本的に人件費は対象としませんがそれ以外のものを対象にしていきたいと考えております。

Q 多子世帯支援事業で、国保は4方式で所得・固定資産・均等割、平等割で課税をしているが、建設国保も医師国保も所得割というものがなく中々で不平等な制度設計だと思いが。

A 国保は限度額によって軽減が図られており、建設国保、医師国保は実際に第三子以降について負担している金額なので、不公平はないと考えています。

Q 森林アドバイザーについて具体的にその業務、どういったことをやっているのか、どういった森林が対象になるのか。業務量的な見直しは。

A 新たな森林管理システムの構築ということ、不在地主や手の入っていない山林が放置されそれが全国的に問題になっていきます。その森林を町が代わって管理が出来るような体制をとって、森林組合、個人の林業経営者などに整備を委託する。例えば間伐、皆伐して収益があった場合には経費を差引いたものを町を通して森林所有者の方に戻していくという事業で、今後国が森林環境税を国民一人当たり1,000円を集めてそのような事業を始めたいということがあります。国が西栗倉村で行われていたシステムをモデルにし、始める事業であります。

Q 雇用促進定住事業は、就職等により町内に定住するものとあるが、実績の関係でどういう人が定住しているのか。

A 町外の方が小海の企業に就職して小海に来ていただいている場合もございます。また小海出身であり都会で働いていたけれども、こちらに来て家業を継ぐというものも含まれており

議案質疑

ます。いろんなケースがあるのかと思
いますけれども、そういった方を中心
に行っています。

Q 大学等進学支援金ですが、要綱の
第3条の「この要綱による支援金
の支給の対象となる者は、大学等に進
学时において進学する者の父母等が町
内に居住し、以降も居住を継続する意
志がある者」と定めておりますが、以
降も居住を継続する意志があるとい
うのは誰の事を指しているのですか。

A 町大学等進学支援金交付要綱の第
3条につきまして、父母等が町内
に居住している者に対して交付をする
ということでありまして、以降も父母
等が町内に居住する意志がある者とい
うことであります。子供さんにつきま
しては町を離れてしまうということも
ありますから、父母等を定義にしたも
のです。またこの制度の目的は、家庭
の経済的な負担を軽減するということ
と、もう一つは将来的見地から大学等
で研鑽を積まれ、その暁に小海町に戻
って来られてまた活躍されるというこ
とも一つの希望として盛り込んである
ものです。

Q 特別支援学校通学費補助、新たな
補助制度だが、その内容は。

A この補助金については就学のため
に小諸の養護学校に通われる際の
送り迎え等、ご両親の自家用車の燃料
代の一部を補助するものです。

Q 白駒の池の遊歩道整備、その内容
は。

A 池の周りのぬかっているところに
木道を設置します。また案内看板
については佐久穂町と情報を共有しな
がら取り組んでまいります。

Q 移住体験施設工事について場所、
大きさ、広さは。

A この事業は議員の皆様からもぜひ
作ってほしいと要望のあった事業
です。農業後継者の体験受け入れなど
を考えています。場所は親沢、建物の
総面積は240㎡、土地は1,480㎡で
す。

Q 本間十二社修繕補助について、い
つ頃町の文化財になり何を修繕す
るのか。

A 文化財の指定は昭和48年9月26日
に町の文化財に指定されました。
修繕はこけら葺きの屋根の葺き替えを
予定しています。

総務産業常任委員会 からの要望

- 議会での町長答弁を課長会議
等で検討し、予算に反映され
たい。
- 町政運営に当たっては、丁寧
な住民説明を実施されたい。

○町長

ご指摘につきましては課長会
議等でしっかりと議論し、議会
の意志が行政に反映されますよ
うやっていきたいと思えますの
でよろしくお願いいたします。



問 バイオマス発電等森林資源の活用にも本腰を

答 町長 里山整備非常に大切。バイオマス発電は小規模のもの検証



的埜 美香子 議員

憩うまちづくり事業

について

問 たぬきやの改修工事後、どのように活用するのか。

総務課長 ヨガ等の体験場所に使っていきたい。又、企業のテレワークとして環境が最高だと評価をいただいている。空いている時はそういった形でご利用いただき、それを足掛かりに、テレワーク事業を町のあちらこちらでできるようになればいいかと思つている。

問 この事業がどの程度松原地区の皆さんに伝わっているのか。

総務課長 たぬきやの改修、遊歩道の整備については一応区の方には話をし、了解いただいている。旅館民宿には協力はいただいているが、とりあえず体制を整えてから取り掛かりたい。

問 仕事としてきちんと成り立つ仕組みを今後進めていく必要があると思うが。

総務課長 セラピストやイン

ストラクターの皆さんには、ボランティアではなくちゃんとした対価を得られるような仕組みというところで第一段階のものはできている。今後、独立した事務局を育てて運営費もそこから稼いだす仕組みを考えています。

的埜議員 この事業の先の展望を具体化させること、町の人にどれだけ関わってもらうかが大事で人材育成にも繋が

里山整備について

問 最近の集中豪雨に見られるように、山崩れや河川の氾濫といった災害がおきる危険性が危惧される。思い切った伐採が必要だと思つた。

産業建設課長 森林づくり県民税の中で防災、減災を目的とした間伐への活用が可能となつている。本事業の前提となる小海町里山整備方針を12月に定め、次年度以降の活用を検討している。

問 里山整備、バイオマス発電等森林資源の活用にも本腰を入れて取り組むべき。専門的知識のある職員を置くべきでは。

町長 バイオマス発電については小規模のものについて内容を検証しているところですが、まだ途上。4月から林政アドバイザーとして1人入りします。

問 その林政アドバイザーは、専門的な知識があるのか。

総務課長 森林組合の方で新規採用する職員で、採用後研修を受けさせ、新たな森林管理システムの導入に向けて動いていきたい。

的埜議員 自然エネルギーへの転換、災害への備え等、小海型の里山整備を展開し雇用の創出も。

問 健康診断受診率アップ広報を

答 町長 健康な町、元気な町の礎となるので積極的に推進



井出 幸実 議員

問 国民健康保険の存続に不安と危機感を感じています。その原因の一つが高齢者医療への過度の負担です。そこで、高齢者の就労環境の整備・健康寿命の延伸についての考えは。

町長 働ける人はいつまでも働けるよう、健康意識を自ら高め、健康づくりに取り組むような環境を整備します。

町民課長 健康寿命の延伸は医療費の抑制から大切なことと認識しています。

問 国保に加入している世帯は、757世帯（50％）そのうち軽減世帯が430世帯（57％）となります。いかに弱者の皆さんが加入している保険と申うが感想はどうですか。

町長 仰せのとおりです。元気な者が元気でない者を支えることは世の常だと思えますがそれが過重なものになってはと感じています。

問 社会を支えてきた団塊世代も後期高齢者となり、これからの医療行政は見通しの暗いことばかりであるが町長の

考えを伺います。

町長 町では医療施設が大変充実しておりまして自信を持てる町であると認識している。町としても出来ることはやっていく姿勢です。

問 平成31年度国保予算では、保険料給付費は前年のマイナス4・1％であるが国保税は8・9％増となっているが。

町民課長 税率決定は前年の所得が決まる5月になります。予算上は県からの納付金が一

割ほど増えたということです。

問 国保税には応能・応益制度があり、現行と県が示す標準保険料率では、税金の軽減に対する国・県・町の補填額3,242千円少なくなる。その金額が加入者に負担を強いているので、町として支援できないか。

町長 現行の制度においてルール違反のないところで町のできることはやるべきだと思っております。



町民の健康を守るKOUUMIマン



ヘルスアップ健康体操教室

問 八峰の湯の運営について

答 町長 赤字を野放しにはしません



篠原 義従議員

問 温泉の赤字運営につきましては、私を含めて多くの議員が懸念され改善を求めて来ましたが一向に改善は進みません。赤字でいいわけ有りません。今後の八峰の湯をどう運営して行くのか、課長、町長のお考えをお聞きたい。

観光交流センター所長 人件費削減から券売機の導入セルフサービスなど検討しましたが、施設の構造また券売機導入に関わる精算方法など施設の根幹の問題ですので、十五年位経過したところで施設改修工事を予定しておりますので、

これからまたご論議をして頂く内容かと思えます。

町長 赤字運営だと重々承知しております。この十月から値上げをお願いしているわけですが、サービスを落とさず良い成果が出るよう私も努力してまいりたいと思えます。赤字という現状を野放しにしておくことは私にはしません。

問 役場職員二名の人件費が大きな出費となっているが二名戻したらどうか。

町長 篠原議員の提案も一つ

の案ですけれどもサービスの低下も懸念される中、来期一期は二名体制でやらせていただきたいと思えます。

問 将来に向け再生可能エネルギーの利用は検討して行かなければならないと誰でもが考えているところでございます。そこで私は福山水の水の力を利用した小水力発電を提案します、幸いにも町長は水利権を持っていて豊里林野水利保護組合の管理者をしていただくわけですが、原発に頼らない日本のため小海町のため、検討してみてはいかがでしょうか。

町長 保護組合の定例会もございましてので議会からこのような提案があった旨伝えたいと思います。

問 八峰の湯源泉

かけ流しの廃湯（熱）を利用したハウス栽培に挑戦したら考えます。冬場の直売所の品不足に大いに貢献できると考えるが。

町長 大変難しいのではと考えますが、**篠原議員** 町長公約の挑戦に組み入れ、試験栽培を行って見るべきです。



町営温泉 八峰の湯

問 管内における特殊詐欺の被害状況とその防止策は

答 町長 防災無線、広報で注意喚起を、防犯機器購入補助金の活用を



井上 一郎議員

問 オレオレ詐欺が毎日のように報道されており、その手口もますます巧妙化し、若い人も騙されるケースもありますが、その大半は70歳以上の高齢者が被害者です。子どもや孫を語り、罪のない老人を騙し、老後のためにと蓄えた大切なお金を一瞬にして失ってしまうのです。被害状況はどうなっているのでしょうか。

答 最近では、ターゲットとした家に電話をかけ、家族構成や現金の有無を聞き出してから押し入る、いわゆるアポ電という犯罪が多く発生しています。そこで「自動音声録音装置」という器具を受話器に取り付けることにより、犯罪抑制になるのではと思いましたがいかがでしょうか。

問 宿渡地区の河川の両サイドの約300mの区間の枯れ木や雑木の伐採作業が行われ、非常に景観がよくなり、これは夏の雨季、豪雨時においてもせき止による氾濫防止にもつながる大変良い事業だと思いますが、事業内容とこれからも続けてできるかをお尋ねします。

答 「小海町消費者被害防止対策機器購入補助金」を活用して頂ければ「自動音声録音装置」の購入費用の半額、1万円を上限として補助していただきます。

が発生しております。町としても土砂災害の危険性というものを認識しているところでございます。これは県の森林税を活用した河畔整備事業というものです。これからも地区の要望、地権者の同意等を得ながら進めていきたいと思っております。



千曲川河川沿いの雑木

問 温泉や直売加工事業などの赤字事業で、町を元気にできるのか？

答 町長 32年度には温泉の赤字が解消できると試算している
それらは元気の種である



渡辺 均議員

問 第6次長期振興計画（長振）が31年度に作られるが、第5次の計画がどのように達成されたのか。

町長 数値で示してないので明確ではないが、概ね提案された事業は達成できている。

問 達成できたかできなかったか、6次の計画では、ある程度数字で目標を設定したらどうか。町長は元気な町づくりの種は撒かれた、と言っているが、直売所や八峰の湯、レストハウスふるさとなどは、町に元気を生み出せるのか。

赤字を補填するような事業は逆に足かせになるのではないか。

町長 温泉は、17万人の利用者があり、18名の雇用もあり、町民の健康増進にも貢献している。その上で、平成32年度は、同じ客数であれば、赤字は解消できると試算している。

問 地元にお金が落ちないと、元気は出ない。イベントで客を呼び込む。イベントの経費が多くなっているが、地域経済への波及効果、費用対効果を判り易く見える化できないか。

か。6次の長振では、過去の実績を示し、今後はこうすると示せないか。

総務課長 検討し、審議会などでお答えしたい。

問 計画を立て、実行し、（成果などを）チェックし、（再び）行動する、というPDCAの実践が人材育成にも繋がっているのか。

総務課長 町では、毎年PDCAを実行しています。

渡辺議員 （やっているというが）見えていないので、見えるように、とお願いする。

問 町民アンケートをやったが、長振に反映できる中身になっていない。スケートセンターの費用対効果はどうなっているのか、図書館、音楽堂、美術館など町民の評価を聞いて反映させることが必要ではないか。憩う町こうみ事業の成果をどのように描いているか。

町長 シンポジウムには91社が参加、この中から30社程度と協定が結べればと考えている。受け入れ態勢には時間が必要でもある。企画は素晴らしいと考えている。

渡辺議員 この事業では健康増進が掲げられているが、佐久病院との連携が想定されていない。佐久病院が築いた健康長寿社会のブランドは活かすべきである。



問 森林環境譲与税と森林税による町の林業振興策は！

答 町長 国産材の需要が高い、皆伐や間伐を強力に進める



新津 孝徳議員

問 黒澤町長も就任後1年近くが経過し自身本来の予算を打ち出しました。少子高齢化人口減少の進む現象を目的の当りにし、出産祝金の増額、大学進学者への支援金の支給等々、対象者にはありがたい施策となり、人口減少をゆるやかにしたいと思う期待が込められています。一方、農業の中でも特に林業についてはどうでしょう。小規模所有者は後継者不足もあり、手入れも行きとどかず放置した状態が多く見受けられます。このような状況とあわせて林業の現状について町長の認識を

伺いたいと思います。

町長 外材の輸入は極端に減っている。唐松を中心とした国産材に需要が高まっていて伐採も進んでおり間伐も進む。林業にも光が差し込んできた。今後明るいものと感じている。

問 国の森林環境譲与税、県の森林税の利用についてはどうか。

町長 多くの山林を保有する町にとって大変チャンスであり、ありがたい施策と想っている。

産業建設課長 森林環境譲与税は林業の担い手の確保、森林整備の促進、都道府県の市町村への支援費用に充てる他、森林経営管理制度、森林管理システム事業費へも充当する。又森林経営管理制度は手の入っていない民有林を意向調査し町が経営管理権を設定し間伐を行う。県の森林税は里山の間伐を進める財源となっており、緩衝帯整備、マツクイ虫の対策を中心に活用している。本年度からは、教育や観光等多面的な森林活用に用途が広げられ河川の支障木の伐採、整備にも利用されている。

問 森林の役割と収益について伺います。古くから世界的にいわれている災害防止、二酸化炭素の吸収等その役割は大変大きなものがある。しかし、収益に到るまでは年月を用いているが、どう思うか。



南佐久中部森林組合による森林整備

産業建設課長 大変多面的な役割を持っている。更新の必要性を強く訴えていると同時に町単独のかさ上げ補助事業による造林への補助で更新へのフォローをしている。

新津議員 森林組合と町で連携を密にし、町の資源を有効活用するよう林政アドバイザーと共に町民の期待に応える事を強く要望致します。

問 災害対策に遅れを取らない対応を

答 町長 関係箇所と調整、また中味を精査し前向きに検討します



小池 捨吉 議員

問 昨今日本の各地で毎年大きな災害が発生していますが、小海町は近年大きな災害に見舞われることなく過ごしてきました。住民も防災については関心が薄いのではないかと思われます。小海町の防災マップは平成26年に作成配布されました。平成29年6月の防災対策基本法の改正に基づいた防災マップの更新は考えておりますか。

町民課長 平成26年のハザードマップには急傾斜地、土石流等の危険箇所が示され、避難施設、避難地が明記されて

おりますが、実際に指定された避難施設や避難地が警戒区域に入っており、逆に危険箇所となる場所もあります。町としては各地区で防災マップの作成にむけた取り組みの支援を進めて行きたいと考えております。

問 具体的に町道、農道に関する落石、浮き石対策についてどのように考えていますか。

産業建設課長 住宅地の裏山の浮き石、道路法面の浮き石をハード面だけで防ぐことは非常に難しいと考えます。

問 西日本豪雨では、ダム及び、溜池が決壊し大きな災害を引き起こしました。ダム等が決壊した場合の連絡体制と小海町への水の到着時間は把握しているでしょうか。

産業建設課長 南相木の神流川ダム等が想定されますが、連絡体制は現在の所確立されておりません。洪水の到達時間も計算していません。

問 NPO法人日本防災士機構が認めております防災士の資格について、役場職員及び消防の各分団に資格取得研修費用助成金を出せないか。

町長 防災士は民間の資格であると言うことであり、中味を精査し必要なものであると判断した場合は積極的に取り組ませていただきます。

問 最近の防災訓練について

町民課長 現在は当番制でなく、適宜実施しています。今後は各地区で作成した防災マ

ップに従い地域の実情に適した訓練を実施してまいります。
問 12月議会で一般質問しましたが、小海駅の改装について検討結果があれば教えてください。

町長 JAが全く決まっていない状況であり、JR、アルとの関連性も出てきます。町の持ち分、責任等が決まり次第それに伴って進めていきたいと考えています。
また、渡り通路も一括事業で検討してまいります。



問 憩うまちこうみ形成事業は民間の人が担うのか

答 町長 当初は町職員と町民の有志の皆さんで協力していきます



篠原 伸男議員

問 憩うまちこうみ形成事業の目指すものはなんですか。

町長 町の豊富な自然環境などの資源を活かし、健康経営を目指す企業の一助をし、関係人口の増加により、町が元気になる原動力にしたいです。

問 株式会社ゆめに、小海町まちづくり協議会のコーディネートと人材育成を委託していますが、この協議会はどんな団体ですか。

総務課長 町内の飲食業や観光業を営む方で町づくりに興

味のある住民で作ったものです。

問 民間の団体で町は関係ないのですか。

総務課長 全く関係ないというのではなく、職員と町民で協力して進めていきます。

問 株式会社ゆめには今まで2千5百九十八万円、31年度で1千万円、人材育成等を委託しているが、インスタグラム・セラピスト等は何人養成されましたか。

総務課長 セラピスト等30名の担い手を養成しましたが、まだまだ研鑽が必要です。

問 株式会社ゆめは伴走型企業だから、指導を受けながらモニターツアーでなく、担い手方によるヘルシーツーリズムを31年度から始めるべきではないか。

総務課長 協定した企業は4月第3週にやりたい旨の申し込みがありました。

たぬきやの改修に

2千万円投資!!

問 今年度は、たぬきやを改修、来年度はセラピープログラムを実施するフィールド整備に1千五百万円。整備・改修する順序が逆ではないか。

総務課長 雨天や寒い日にヨガ等をやるのに、湖水の見え方の希望がありますから。

問 モニターツアーに参加した人は、ガイドの質、森の質

が良くないと感想しているから、フィールド整備を優先するべきではないか。又、担い手はいつから一人立できるのか。

総務課長 3年くらいを望みますが、5年は必要と思いません。

篠原議員 稲子湯近くの森は白駒の池に負けない苔の森です。建物改修よりセラピー環境の整備を私は優先すべきと重ねて申し上げておきます。株式会社ゆめにいつまでも頼らず、1日も早く民間主導の憩うまちこうみ形成事業を望みます。



改修費2千万円のためぎや

問

ふるさと納税返礼品、 総務省通達を無視したのか

答

総務課長 3割以内との指導を重要視していなかった



鷹野 弥洲年議員

問 ふるさと納税に対して、3割を超える返礼品を贈っている自治体が問題になり、総務省から度々指摘をされ社会問題になっている。
当小海町も3割を越えていると新聞報道がされ、昨年10月に見直しを行うとされたが、その後も4割の返礼品を送っている。総務省・マスコミ・議会に対し見直しをしたと答えたが、整合性がない。
そもそも総務省の3割以内にするようとの意向を無視して寄附金を集めようとしたのか。文書の受付印も無い、稟議の記録もない、会議を開

いて対策について協議を行った記録もない。これだけ社会問題になっているのに役場内で協議をしなかったのか。
総務課長 総務省の通達を無視したつもりはないが、4月に案内のパンフレットを作成し出回っているの見直しができませんでした。3割以内にしなければならぬとのこととは承知していたがそれ程重要に受け止めていませんでした。
問 返礼品の割合については、私が12月議会と1月臨時会で

質問し、回答に適切さを欠いているから関連資料を要求し一般質問を行った。
12月議会で返礼品の割合が不適切だと指摘し、1月臨時会の議題となったが、議題とした主旨のすり替えが行われた。適切さ誠実さに欠ける。
一覧表の提出を求め、見直し後の数字を調べたが見直しになっていない。
理事者側は予算の編成・提案権を持つているが、その施策をやるかやらないかを決めるのは議会だ。意志決定機関は議会である。その執行に対して批判と監視を行うのは議会であり議員の責務である。議会での質問は、町民に対する説明であり理事者側の説明責任でもある。
理事者側と議会が真摯に議論を重ね合意形成を図り施策に繋げていく



小海町ふるさと納税パンフレット

ことがより良い町づくりにつながる。このことを理事者・議会双方が共通認識として持つべきだ。議会における議員の質問には適切に丁寧に答えるべきだが。
町長 緊張感の欠如という以外に返答できない。適切な対応ができていなかった。丁寧さに欠けるといって指摘を真摯に受け止める。

問

「病院にかかった時には手遅れ」とならない様に

答

町長 不平等による利用はあってはならないと認識しております



井出 薫 議員

問 1月26日悲惨な交通事故が起き、地域の皆さん非常に大変な状況が長く続いた。迂回路対策、31年度予算での具体化を強く要望する。

第6次長期振興計画

について

施政方針で、町民アンケート、各団体との懇談会、地区懇談会など聞いてきたと言われているが。

町長 町民本位の計画をと、私は町民の意見を聞きたいわけですが、機能的にももう少し工夫が必要ではないかと実感

しています。アンケートも不十分な部分もあり、検証をさらに進めていく必要があると思います。

小海町ならではの

長期構想を

問 「西栗倉村、若い人たちの仕事がなくどんどん過疎になっていく。そういったときに村にある資源で仕事づくり、『100年の森林構想』が生まれた。今は、ただ単に木を切るだけでなく、環境モデル都市として再生可能エネルギーの導入や、省エネ活動、工

ネルギー自給率の向上など良質の田舎づくりを長振の目標に掲げている。「町民の声、職員の方々のプロとしての声を長振に具体化できるような努力をお願いしたい。」

国民健康保険について

問 均等割、平等割をなくせば保険料は大幅に引き下がり、協会健保並みになるという資料があります。町長の国保税に対する認識、適正かどうかという点も含めて伺います。

町長 低所得者が健康に安心して暮らせるものでなければいけないという認識は常に持っております。

全国知事会が国保に

公費1兆円投入を要望

問 公的な医療保険は、国民に平等に医療を提供する仕組みです。加入する保険によって負担や給付に大きな差があることは問題です。国保が過大な負担になっている現状を

理解し、一層の努力と検討をお願いしたい。

町長 国保税、研究をし、前向きな検討をしたいと思いません。

問 野良猫対策について、新年度に向けての取り組みは。

町民課長 効果的な広報活動を考えております。

問 去勢避妊手術でなければ基本的に解決しないと思うが。

町長 いろいろな実例もありますので研究をし、動物愛護の精神にのっとった施策を立てていきたいと思っております。



◆平成30年度小海町一般会計補正予算(第4号)について
賛成多数で可決

第1回臨時会での審議中賛成多数で可決された議案

(○は賛成 ×は反対)

(議員氏名) (議案名等)	古谷恒晴	渡辺均	井出幸実	井上一郎	小池捨吉	篠原伸男	篠原義従	的埜美香子	井出薫	新津孝徳	鷹野弥洲年	有坂辰六
平成30年度小海町一般会計補正予算(第4号)について	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	議長職

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は
6月開催予定です

議会ではどんな発言をしているのか、またどんなまちづくりを考えているのか、今後の町の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越し下さい。



車椅子をご利用の方は、議場内の専用スペースで傍聴することができます。



議会に関する事は町ホームページをご覧ください。定例会一般質問を音声により聞く事ができます。

また、会議録もホームページへ掲載しておりますので、ご覧ください。



小海町議会

詳しくは、**議会事務局**電話 0267-92-2525 (内線300・301) にお問い合わせください。

編集後記

この冬は降雪量が少なく暖冬で、春が早いのかと思っていたら、3月4月は寒の戻りで春が待ち遠しい。今年の夏はどんな陽気になるのかが心配です。

さて、31年度黒澤町政初の本格予算議会は、審議で色々な課題が指摘され、長時間に渡って議論が交わされ、定時で終わらない日が何日ありました。議論の未可決されましたが、町は問題を重く受け止め、少々時間が掛かっても精査し直し、町と議会が同じ方向で町づくりにむかえればと思います。

今号をもって、この5名による編集委員会最後になります。「町民の皆さんに読み親しまれる議会だより」を目指してきました。より議会の内容が伝わるように、次の委員に託したいと思います。

(編集委員) 的埜美香子

- 編集責任者 有坂 辰六
- 編集委員長 的埜美香子
- 編集委員 鷹野弥洲年
- 編集委員 篠原 義従
- 編集委員 井出 幸実

